

第11回（平成22年度 第2回）東庄町障害者地域自立支援協議会 **結果概要**

日 時 平成22年8月30日（火）14時00分～
場 所 東庄町保健福祉総合センター 会議室

1. 開 会 14:00
2. 挨拶 健康福祉課 林課長 保立会長
3. 事務局報告事項 【報告者：福祉係 高安】
4. 議 題 【議事進行：保立会長 資料説明：福祉係 高安】

（1）（地域生活支援・就労・療育）検討会の結果に基づく協議

《議題資料1》

【協議概要】

3検討会において挙げた課題等について、議題資料1により、事務局より報告を行ったのち、今後、検討会にて、協議を行っていく上で、全体会議にて基本的な方向付けとしてテーマを決めてはどうか事務局より提案し、参加者より意見を伺う。

《地域生活支援検討会》

- ・障害に対する理解と地域づくりをテーマとして行ってはどうか。
- ・精神に関しては、訪問型の支援を行う方法を深く検討してはどうか。
- ・親亡き後の支援として、成年後見制度の利用促進のための検討をしてはどうか。
- ・取り組み方法として、出来ることから始めるのか、最も困っている方に焦点を合わせて考えるのか。
- ・保健所としては、地域生活支援は大きな問題と捉えており、精神に関しては、本人はもとより、家族への支援も必要と考えているが、保健所だけでは不十分であり、医療機関・行政・ボランティア等のネットワークが欠けており、検討会がきっかけとなれば良いと思う。

《就労検討会》

- ・次世代を担う若い世代の方（事業主）が将来的に、障害者の雇用に関して、どのような考えるのか。また、障害を持つ方や関係者はどのような努力をすれば良いのか。そのことを協議できれば良いと思う。
- ・一般就労が困難な方もいる。そのような方への、生きる喜びに繋がるような支援（賃金をもらうための就労とならずとも）を検討してはどうか。

- ・前回の検討会では、事業主への理解活動が不足しており、新規受入先（産業現場実習）が見つからない等の意見など、産業現場実習を中心とした協議でとなり、今後、福祉的就労（障害特性や程度に応じた支援）など、より広い視点で協議を行っていくため、今回は、福祉的就労を含め、現状等の共通理解を行う。

《療育検討会》

- ・早期療育支援の大切さを感じた。広域で早期に取り掛かってほしい。
- ・ひきこもり、精神疾患の前兆をいち早くとらえて療育的支援につなげる検討が必要。
- ・各学校の先生方同士のつながりについて課題が多くあげられた。
- ・サービス利用については、当町の場合、広域での対応となる。まず、町保健師がサービスなどの紹介をしている地域である。今後、先生方と町保健師のつながりが持てれば、将来の見通しにも繋がると思われる。将来の見通しに具体的なイメージを持つ点では、制度・関係機関の情報がすぐに手に入られる仕組みづくりが必要。

～以上、全体会議にて意見があった内容を各検討会へ報告し、検討会にてテーマづくりを行うこととした～

(2) 東庄町障害者福祉計画の改定に関するアンケート調査の設問項目に関する協議 《議題資料2》

議題資料2は、前回の調査の「就労に関するアンケート」と「町障害者福祉計画改定に関するアンケート」をまとめたものです。

アンケート配布予定時期：平成22年12月頃

集計完了予定時期：平成23年3月末頃

上記のスケジュールを予定しており、別紙意見書により、今回のアンケート調査の実施にあたり、設問事項について、各委員の皆さんからご意見を伺いたいと存じます。

意見書の提出期限を平成22年9月30日としましたので、よろしくお願いいたします。

5. その他
- ・かとりネット講演会の開催周知
 - ・次回開催予定時期：事務局にてアンケート意見書を取りまとめ、素案を作成した上で、11～12月の間で開催を予定

6. 閉 会 15：40